



「奪われたZEUS」
通常は見かけない
「CAエラー」が発生

「ゴトに勝つ」の前々回の第56回
でお伝えした「アナザーゴッドハ
ーデス―奪われたZEUSver.―」
のセルゴト被害が依然続いており、
日本全国あちこちから被害報告が
入ってきております。

手口としては、筐体左上部側面
に強引に隙間をつくり、その隙間
からセルを挿入して、サブ基板上
部の隙間やサブ基板とサブ中継基

板のジョイント部分にセルを接触
させて、偽造したレア小役情報を
強制的にサブ基板へ送り込み、A
Tに突入させて大量に上乘せをさ
せるというものです。

4月下旬に北海道に現れた「ア
ナザーゴッドハーデス―奪われた
ZEUSver.―」のセルゴトグルー
プの犯行手口は、実に手馴れたも
のでした。札幌市内のA店で発生
した事案では、「ZEUSver.―」は、
通常では見かけない「CA」=「C
OM ALT」というエラーが発
生しました。

このエラーを解除したところ、



すぐにその台に座っていたお客様
(打ち子)が退店されたので、その
一連の動作に違和感を覚えたホー
ルスタッフが役職者に連絡を入れ
て、役職者が防犯カメラの録画映
像を確認すると、先ほど退店され
た方ではなく、別の人物(実行役)
がエラーを発生させていたことが
判明しました。

エラー出てゴト中止
退店したが戻り
指紋を拭いて去る

防犯カメラの録画映像を詳しく

チェックしてみると、ゴトグルー
プは少なくとも4人はいたようで、
実行役Aと壁役BとC、見張り役
Dという役割分担がされているよ
うでした。

壁役BとCの間に実行役Aが座
り、見張り役Dは島端の遊技台に
着席してホールスタッフの動きを
監視していたとのこと。実行
役Aが筐体左上部側面からセルを
挿入するなどの作業に入ると、壁
役BとCはナンバーランプのデー
タを見るフリをしながら壁をつく
って犯行現場を隠す挙動をみせて
いました。

数分すると被害台でエラーが発
生して、実行役Aと壁役Bと見張
り役Dがすぐに退店していきまし
た。エラーが発生した被害台には
ひとり残った壁役Cが座り、ナン
バーランプの呼び出しボタンを押
してホールスタッフの到着を待つ
ていました。

駆けつけたホールスタッフに
「CA」=「COM ALT」という
エラーを解除してもらったものの、
ATに突入してはいなかったので、
すぐに退店したものと思われま
す。しかし、数分後に見張り役Dが
戻ってきて、被害台の筐体左上部

ゴトに勝つ 高石隆一

58

警察による打ち子連行は ゴト師対策に有効で感謝



札幌市内で同じ手口 同じCAのエラーで 打ち子だけ残り逃走

側面などの指紋をふき取って退店していきまされた。この店では、セルゴトに失敗した模様でATには突入しませんでした。

その日の午後には、札幌市内のB店からも被害情報が入りました。B店でも「アナザーゴッドハーデス」奪われた「ZEUServer」で、通常では見かけない「CA」⇐「COM ALT」というエラーが発生して、変なエラーだとは思いつ

つエラーを解除したところ、リール上ではリプレイだったが液晶画面で紫7が揃った演出が発生しました。



NO	エラー内容	発生
1	GOM ALT	2016/04/28
2	GOM ERR	2016/04/29
3	ME	2016/04/25
4	ME	2016/04/25
5	ME	2016/03/20

エラー情報履歴には
2つのエラーが同時に記録される
16/03/20
16/03/19

この状況を不審に思い、役職者に連絡が入り防犯カメラの録画映像をチェックしてみたところ、A店とまったく同じ手口で犯行が行われていたことが判明しました。実行役Aが筐体左上側面を異物で強引に隙間をつくり、セルを挿入してしばらくするとパネルが消灯しエラーが発生した状態になりました。ここまでの犯行時間は約3分とのことです。

やはりA店と同様にエラー発生直後に打ち子だけを残してゴトグループはすぐに退店して、打ち子は被害台に座りホールスタッフを呼び出してエラーを解除してもらいました。エラー解除時に当選したATを消化して約1200枚のメダルを獲得しましたが、ゴト被害に気がついた店舗側は警察に通報して打ち子は連行(任意で)されました。

その際に、店舗側は打ち子に対

して不正行為によるメダル獲得の場合は、すべてのメダルは無効となる旨(ハウスルール)を伝え、その結果、実被害は無く済んだとのことでした。

打ち子は何も持たず 証拠つかみにくい 舐めてかかり居直る

警察に連行された打ち子ですが、ゴト器具の所持もなく、実行役との関係性も立証できず、本人は「ただ遊技をしていた」との一点張りだったそうで、残念ながらもぐに釈放されることになりました。打ち子は、身元を証明するようなものは一切所持しておらず、ただ本州から来ていたということしか聞き出せなかったそうです。4月下旬に札幌市内で発生した「アナザーゴッドハーデス」奪われた

「ZEUServer」を狙ったセルゴトですが、この案件以外に道内での被害情報は入ってきておりません。もしかすると、道内のどこかでこのゴトグループが暗躍している可能性もありますが、打ち子が任意で警察に引っぱられたことで懲りて北海道を出ていったのではないかとも思っております。

通常、打ち子というのは、実行役との関係性が立証できないのいいことに、警察が手出しできないと舐めてかかってくる輩が多いので、今回のように打ち子をダメモトで引っ張って貰うというのには非常にありがたい対応です。

とにかくしびとく 出玉を取ろうとする エラーチエック厳重に

今回の被害事例では、2件とも「CA」⇐「COM ALT」が発生しております。1件は、エラー解除後に何も当選していなかったもので、打ち子はエラー解除後すぐに退店していきまされた。もう1件の方では、エラー解除後に紫7に当選していて、打ち子そのまま遊技を続けてATを消化していきま

した。(※獲得したメダルはハウスルールによって無効にしました)

「CA」などのエラーが発生した場合、実行役などはエラー発生直後に犯行店舗から早急に退店するが、打ち子だけが残ってエラー解除後の被害台の状況をチェックし、ATに当選していた場合には店舗側の警戒状況を伺いつつ、出玉を獲得しようとしているようです。

これらの状況からも、普段見かけないエラーが発生した際には、勝手に解除することのないようにすべてのホールスタッフに徹底させて、必ず役職者へ連絡をするなどエラー情報の共有をするようにして、実被害の発生を防ぐように対応をお願いいたします。

余談「感謝の電話」

以前にユニバーサル系スロットのセキュリティエラーレベル(感度)の変更をお願いしましたが、その記事を読んだあるチェーン店のセキュリティ担当の方から連絡が入りました。

それは感謝の電話で、そのチェーン店全店舗に設置されているユニバーサル系スロット全台のセキュリティエラーレベル(感度)を

チェックしたところ、1台も【H I】設定になっていないものはなく、ほとんどが【NORMAL】設定で一部の機種では【OFF】設定のものもあったそうです。

ユニバーサル系スロットのセキュリティエラーレベル(感度)の変更方法や詳細説明は、「ゴトに勝つ56」(※日遊協4月号掲載)をご参照ください。



悪質なメダル持ち込み こまめな交換繰り返し 被害をつかみにくい

全国的にスロットの低貸し営業店舗が増えており、他店メダルの持ち込み事案も全国各地で多発しているようですが、昨年、北海道でも多くの店舗でメダルの持ち出し・持ち込み被害が発生しました。いくつかの悪質なグループが犯行を繰り返していたのですが、昨年1番犯行件数が多かったグループが、今年の2月にやっと逮捕されました。

このグループは2円スロットや2・5円スロットを実施している店舗で、

2〜3千円分のメダルを持ち出して(盗み出して)、20円スロットの店舗に移動して、お金を使用すること無く他店メダルを使用して遊技をするというものでした。

メダルを盗み出す方法は、ドル箱ごとメダルを店外に持ち出すというとても大胆な手口で、逮捕後の家宅捜索時には多種多様のドル箱が窃盗の証拠品として押収されたそうです。

他店メダルの使用方法(持ち込み)は、少量をポケットから出しながらジャグラーなどの当たりが軽いAタイプで使用して、大当りを引くとすぐに交換して、再度ポケットから取り出した他店メダルを使用するという作業を繰り返すというものでした。

この手口だと、持ち込み犯がジェットカウンターに持ってくるメダルは、すべて自店メダルということになるので、

被害に気がつくのは遅くなってしまいます。そして、厄介なのは、持ち込み犯が使用した他店メダルがホッパーに蓄積されて、

善良なお客様が遊技して大当りした際に蓄積された他店メダルが払い出されて、そのままジェットカウンターに持ち込まれた結果、対応するホールスタッフが大量の他店メダルを発見して、善良なお客様を他店メダルの持ち込み犯と間違えてしまうケースがあるので対応には注意が必要です。



警察の嚴重注意を 複数回受けても 持ち込み続ける

5月に札幌市内の店舗で発生した他店メダルの持ち込み事案では、持ち込み犯はショルダーバッグに大量の他店メダルを隠し持ち、各台計数機の持ち込み監視に引っかかるように少量のメダルを流す行為を複数台で繰り返し、合計約1500枚のメダルを交換して退店されてしまいました。

実は、今回犯行を行った持ち込み犯は、1年前(2015年2月)頃から同様の行為を系列店舗等の複数店舗で行い、警察による嚴重注意を複数回受けた犯人と同一人物であることが弊社のゴト師ブラッターリストから判明しました。



過去に警察に身柄を確保され複数回も厳重注意を受けているにも関わらず、再犯するというのは、「警察を舐めている」「パチンコ店を舐めている」としか思えません。このような悪質な持ち込み犯は、厳罰に処されることを願うばかりです。



「同じ20円メダル 他店で打って何が悪い」 悪びれない非常識

他店メダルの持ち込み事案で、ちよっと変わったケースが先日発生しました。50代くらいのお客様が遊技しているスロットでオーバードローエラーが発生し、その対応に入ったホールスタッフがホッパリー内に他店メダルを50枚くらい発見した。遊技していたその人物の挙動が気になったので、他店メダルの件を聞いたところ、素直に他店メダルを持ち込んで使用したことを認めたが、本人は一切悪びれた様子が無かった。

本人曰く、近隣店舗の20円スロットコーナーでメダルを借りたが、打ちたいスロットが無かったため、そのままメダルを持ってお店を移動してきて、持ち込んだ近隣店舗

のメダルを使用して遊技をしたとのこと。20円コーナー(他店舗)のスロットのメダルを20円コーナーに持ち込んだだけなのに何が悪い?という言い分だったので。

系列店舗のメダルを持ち込んだのであれば、少しは分かる言い分ですが(NG行為です)、まったく関係ない店舗のメダルを自分勝手な都合で持ち込んで使用して、一切悪びれないというのは完璧に常識がズレているとしか言いようがありません。

ハウスルールや店内の掲示物に書かれている通りに、他店メダルの持ち込みは禁止されている行為であることを説明しても、理解されない状況でした。



店舗内のロッカーにメダルや玉を保管し 翌日それを遊び遊ぶ

このような非常識で店舗に迷惑をかけるケースは他にもあって、店舗内に設置されているコインロッカーに、勝手にメダルや出玉を保管して帰り、翌日そのコインロッカーの玉やメダルを使用してお金を使わずに遊技をするという、

コインロッカー式貯玉再プレイシステムを勝手に構築する年配のお客様が意外に多いので、コインロッカーの使用状況には注意が必要です。

笑い話のような本当にあった話で、いずれも悪意がなく迷惑行為を行っているのが厄介です。



ふとした思い付きで糸付きメダルを使う 「マネゴト師」はダメ

最後に、常連のお客様が悪だくみを思いつきマネゴト師になってしまった事案をお伝えします。あの遊技機でセレクトエラーが発生したので、ホールスタッフが遊技台をチェックしてエラーを解除しようとしたところ、メダルセレクト内から糸が付いたメダルが見つかり、遊技していた常連のお客様が「出来心でやった」と犯行を認め謝罪してきたという事案が発生しました。

現在出回っているメダルセレクトにおいては、メダルの進行方向



とは逆にメダルが流れるとエラー(メダル逆行エラー)が発生する仕組みとなっているため、今回のような手口による不正はほぼ不可能となっております。しかしながら、今回のような思い付きの出来心による犯行であっても、不正に玉やメダルを搾取しようとする行為はゴト行為に該当します。今回はたまたまメダルに糸をつけて失敗しましたが、もし玉であった場合には『糸付き玉ゴト』として立派なゴト行為で実被害も発生していたかも知れません。

持ち込みや置き引き等によくありがちですが、このように一般遊技客が出来心でゴト行為に及ぶことも多々ありますので、一般遊技客のゴト師化にも十分ご注意ください。くようお願いします。

■高石隆一 ■たかいしりゅういち
警備会社の指導員、セキユリティー会社を経て2003年、有限会社ジャパンセキユリテイサービスを設立し代表取締役。札幌方面遊技事業協同組合、札幌遊技業協同組合、札幌遊技業支配人会の顧問を務める。また、パチンコ産業のセミナー講師を数多く務める。北海道警察本部の捜査にも協力している。二期二会が座右の銘。